

【褒賞申請書】

事業名称	一般社団法人札幌青年会議所 グローバル人材育成プログラム
申請部門	

申請LOM	北海道地区協議会 北海道ブロック協議会 一般社団法人 札幌青年会議所
LOMの人数	172 名
理事長名	池崎 潤 (いけざき じゅん)

本事業の	会員数	172
	関係者数	17
	一般参加数	157
事業実施に至った背景 (事業実施の必要性を記入)		<p>私たちの住む札幌市は、政令指定都市のなかでも外国人の受け入れ数が少ないということから、「多文化共生に向けた経験の不足」「観光の受け入れ環境の脆弱さ」「経済面での海外展開の不足」などの原因によりグローバル人材の不足が指摘され、札幌市だけの対策でこれらの問題を解決するには多くの課題を残しています。</p> <p>国際都市へ成長するためには、グローバルな視野で物事をとらえることのできる人材を育成する必要があります。グローバル人材の必要性が市民へと伝播し、多くの社会貢献意識をもった人材が増え続けることにより、より多くの国際協力が生まれます。</p> <p>そこで、札幌青年会議所が他団体と連携してグローバル人材の定義である「世界を知る、日本・札幌を知る、交流する」を実践し、学び、取り組むことで、市民意識変革運動の機会を創出し、市民が札幌に住む日本人としてのアイデンティティをもつグローバル人材に育成するための運動を広く発信することが必要です。</p>
事業の目的		<p>(1) 国際都市「SAPPORO」を創るため、市民の社会貢献への意識改革を促します。</p> <p>(2) グローバル人材育成の重要性を広く伝えることで、交流や協力を通じ、世界に貢献する都市を創ります。</p> <p>(3) 国際都市「SAPPORO」を創るため、グローバル人材育成の重要性を広く伝えます。</p> <p>(4) 市民の社会貢献への意識改革を促すとともに、交流や協力を通じ、世界に貢献する都市を創ります。</p>
事業の概要		<p>(1) 三月「グローバル人材育成」例会で、公益社団法人日本青年会議所が推薦する真の国際人育成プログラムの受講を通じ、自国の文化と他国の文化の違いを学び</p>

			<p>ました。また、札幌商工会議所が主催する札幌シティガイド検定の事前受講と模擬試験を通じ、自身が住むまち札幌の歴史と文化を学びました。</p> <p>(2) 札幌で 学ぶ学生 10 人を対象にグローバル人材育成プログラム事前セミナーを開催し、グローバル人材に必要な要素である「世界を知る、日本・札幌を知る、交流する」ことについて説明いたしました。また、タイ王国にてグローバル人材育成プログラム IN タイ王国を開催し、グローバル人材育成に必要な要素、「世界を知る、日本・札幌を知る、交流する」を習得し、国内では学ぶことができない国際感覚や相互理解の精神、郷土愛などを深めました。</p> <p>(3) グローバル人材育成プログラム事後セミナーでプログラムに参加した学生 10 人がグローバル人材育成プログラム参加前、参加後の自身の意識変革を認識いたしました。</p> <p>(4) 八月特別事業にて、</p> <p>I. UN MDGs 認知向上プログラムを開催し、国際協力についてディスカッションを行いました。</p> <p>II. 「“もし世界が 100 人の村だったら”」の著者である池田香代子さんのセミナーを開催し、国際社会の現状に対する日本の現状及び、次世代のグローバル人材の育成方法、地球益について学びました。</p> <p>III. グローバル人材育成プログラムに参加した学生がプログラムをとおり自身がグローバル人材へと成長した過程と、今後、国際都市「SAPPORO」に成長するためにグローバル人材の必要性を発表した。</p>
開催期間・タイムスケジュール		2012 年 12 月 20 日から 2013 年 8 月 18 日まで	
開催場所		札幌市内及びタイ	
事業区分		新規事業	
公益・共益区分		公益事業	
協力団体と協力団体の参加員数		共催	JICA 北海道
		協賛	札幌国際大学
		後援	札幌商工会議所
		その他	北海道タイランドクラブ
事業対象者		札幌市に住み暮らす人々（193 万人）	
行動 (ACTION TAKEN)		<p>2013 年</p> <p>1/22 札幌国際大学と打ち合わせ</p> <p>2/12 札幌国際大学と打ち合わせ</p> <p>2/26 北海道石狩振興局 札幌市観光文化局観光コンベンション部と打ち合わせ</p> <p>3/2 三月「グローバル人材育成」例会</p> <p>3/19 独立行政法人 国際協力機構と打ち合わせ</p> <p>3/27 札幌国際大学と打ち合わせ</p> <p>4/5 独立行政法人 国際協力機構と打ち合わせ</p>	

	<p>4／19 独立行政法人 国際協力機構、札幌国際大学と打ち合わせ</p> <p>5／15 独立行政法人 国際協力機構、札幌国際大学と打ち合わせ</p> <p>5／31 独立行政法人 国際協力機構、札幌国際大学と打ち合わせ</p> <p>6／28 グローバル人材育成プログラム参加者募集</p> <p>7／1 グローバル人材育成プログラム参加者募集締切</p> <p>7／1 チラシ・ポスター配布</p> <p>7／2 グローバル人材育成プログラム参加者選考</p> <p>7／3 グローバル人材育成プログラム参加者発表</p> <p>7／5 グローバル人材育成プログラムの事前説明会及びセミナー開催</p> <p>7／15～19 グローバル人材育成プログラム実施</p> <p>7／31 北海道石狩振興局 地域づくり総合交付金 内定通知</p> <p>8／6 プログラム参加者事後検証会</p> <p>8／18 八月特別事業</p> <p>8／30 北海道石狩振興局 地域づくり総合交付金 本申込書提出</p> <p>9／12 北海道石狩振興局 地域づくり総合交付金 決定通知</p> <p>11／29 北海道石狩振興局 地域づくり総合交付金 実績報告書提出</p>
結果 (RESULTS)	<p>(1)三月「グローバル人材育成」例会</p> <p>自国の文化と他国の文化の違いを学ぶことで、世界を知るために必要な多文化を受け入れることのできる能力を養うことができました。</p> <p>(2)グローバル人材育成プログラム事前セミナー</p> <p>プログラム参加者が本プログラムの趣旨と目的を理解し、「世界を知る・日本・札幌を知る」について学ぶことで、世界と日本の現状や、日本人としてのアイデンティティ、札幌の歴史、風土、文化について深く理解することができました。</p> <p>(3)グローバル人材育成プログラム IN タイ王国</p> <p>学生たちがタイ王国の現地学生と交流することにより、自分の意見を伝えることや多様性を受け入れることで相互理解の重要性と意識の向上を図ることができました。国内では学ぶことのできない国際感覚や相互理解を深め、次代を担う世代をグローバル人材に育成することができました。</p> <p>(4)グローバル人材育成プログラム事後報告会</p> <p>プログラム参加前に記載したアンケート内容とプログラムレポートを基に参加前後を比較・検証し、自身がグローバル人材へと成長した過程を認識しました。</p> <p>(5)八月特別事業</p> <p>I. UN MDGsでは、社会貢献意識を喚起することができました。また、自己目標を掲げ発表していただくことで、気づきや意識を高めるだけでなく、具体的行動へとつなげることができました。</p> <p>II. 「地球益」という観点より講演され、グローバル人材育成に必要な要素として多くの市民に発信することができた。</p> <p>III. 実践してきたグローバル人材育成の成果を発表し、意識の高い学生の姿を見ていただくことで意識変革と運動の必要性を理解していただくことができました。アンケートの結果により、例会参加者の95%が私たちの住む札幌が</p>

	<p>国際都市「SAPPORO」に成長するためには、グローバル人材の育成が必要だと感じました。また、88%の方が世界と交流するだけでなく日本、札幌のことを知ったうえで交流することが大事だと感じた。さらに81%の方が国際社会の一員として、国際協力をしたいと感じました。</p>
事業総予算・収支	<p>収入計：2,705,000 円</p> <p>支出計：1,200,000 円</p>
地域社会への影響	<p>八月特別事業終了後、市民に下記のアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの住む札幌が国際都市「SAPPORO」に成長するためには、グローバル人材の育成が必要だと感じましたか？」 ・「私たちが住む札幌のために、明日からどのような行動を起こしますか？」 <p>賛成意見が高いアンケート結果から、今回のプログラムは地域に対する影響は大きいと考えられます。</p>
LOM への影響	<p>札幌青年会議所メンバーは三月「グローバル人材育成」例会で公益社団法人日本青年会議所が推薦する真の国際人育成プログラムの受講を通じ、自国の文化と他国の文化の違いを学びました。</p> <p>札幌青年会議所メンバーは三月「グローバル人材育成」例会で札幌商工会議所が主催する札幌シティガイド検定の事前受講を通じ、自身が住むまち札幌の歴史と文化を学びました。</p>
事業の長期的な影響	<p>グローバル人材の必要性が市民へと伝播し、多くの社会貢献意識をもった人材が増え続けることにより、より多くの国際協力が生まれます。</p> <p>学生は今回の運動において国際感覚が養われ、今後の就職において国際的な事業に関わる可能性が膨らみました。</p> <p>国際都市「SAPPORO」にならなければならない必要性が、多くの市民に広まることで、札幌の経済構図にも影響を与えます。</p> <p>国際感覚をもつグローバルな人材の重要性を市民が理解し、周囲に伝えていくことで世界を知りグローバルな視点から社会を見つめる市民の国際感覚が養われていきます。</p> <p>市民が変革していくなかで世界的な視点から他国との相互協力と理解の重要性を知り国際都市「SAPPORO」へと成長し、世界に必要なまちとなります。</p>
考察や推奨	<p>(1) 市民を対象にUN MDGsを開催することにより国際協力の重要性や社会貢献意識を促すことができました。</p> <p>(2) 市民は、グローバル人材育成プログラムにより成長した学生の発表を見ることにより、グローバル人材の育成が可能なことを理解いたしました。</p> <p>(3) 札幌青年会議所メンバーは三月「グローバル人材育成」例会で自国の文化と他国の文化の違いを学び、グローバル人材の育成に必要な要素を定義付けました。</p>

	(4) 札幌に住む学生 10 名をタイに連れて行き他国の人々と相互理解を深め、グローバルな視野で物事を考えられるよう成長させました。
その他	<p>グローバル人材の重要性は例会参加者に理解は得られたが、参加者以外の市民に広く伝えることはできませんでした。</p> <p>関係機関を増やすことによってより多くの市民に影響を与えられた可能性があります。</p> <p>札幌青年会議所の事業として継続することにより、もっと多くの市民に対し影響を与えられると考えます。</p>